

# 平成28度「京カグランプリ」発表事例一覧

	所属名	事例名(取組概要)
1	山城広域振興局 農林商工部	<b>「お茶の京都」を世界へ★ 若手府市町村職員一丸で取り組む 相楽地域プロモーションin台湾</b> ○海外での宇治茶や相楽地域の知名度を向上させるため、相楽5市町村と府の若手職員でチームを結成 ○台湾国際観光博覧会等に参加し、宇治茶のPRと来年の「お茶の京都博」に向けた観光PRを実施 ○帰国後、旅行会社等のアドバイスを受け、相楽観光のモデルコースを検討し、PR冊子を作成
2	南丹広域振興局 農林商工部	<b>さあ、森の京都へ。「京都丹波」イチ推しの食プロジェクト始動</b> ○観光・交流や農産物販売拠点である道の駅や農産物直売所に焦点をあて、京都丹波の素晴らしい食材や料理メニューをクローズアップし「見える化」する仕掛けづくりを立案 ○農家考案の料理レシピ100種類を4か月にわたりクックパッドに順次掲載・発信、ホテルグランヴィア統括総料理長と新しい料理メニューの共同開発・販売等を実施
3	中丹広域振興局 中丹西土木事務所	<b>広報したつもりからの転換で土木の魅力アップ ～“府民の声”と職員の“気づき”でわかりやすい情報発信～</b> ○中丹西土木事務所の仕事の意義等を府民に十分伝えられていないという観点から、事務所内全室からメンバーを募り、若手職員の対話を軸に全員で議論 ○新たにフェイスブックを活用した情報発信を始め、土砂災害防止のメカニズムをわかりやすく見せる模型や親子で楽しむ長大橋のペーパークラフトを製作、小学校への出前語らい等でPR
4	丹後広域振興局 丹後保健所	<b>健康満丹な地域をめざして職域へのアプローチ</b> ○丹後地域は府内で最も高齢化率が高いため、健康経営に取り組む企業増加をめざす取組を所内横断的なPTを立ち上げ展開 ○協会けんぽとの協働、商工会議所・商工会・京都大学と連携し、セミナー開催、企業訪問、企業アンケート調査等を実施
5	総務部 京都西府税事務所・ 京都地方税機構 京 都西地方事務所	<b>府民満足への原点。組織力アップで税収確保！ ～職場に地域に笑顔の花を咲かせましょう～</b> ○平成24年度から所内でチームを創設し、継続して毎年新たな業務改善の取組や取組の拡大を実施。「所訓」の具現化、業務改善(クリーン作成、改善提案事業等)、「すま愛るニュース」の発行により、取組と成果の共有促進 ○チーム員が対話を重ねることで納得して取組を進めるとともに、定期的な活動報告により所属長を含めて組織内で共有・支援
6	総務部 税務課	<b>若手税務職員の育成から始める経営品質向上推進</b> ○採用3年目までの若手職員対象の研修の開催にあたり、企画から運営まで、若手職員チームの自主的活動によって実施 ○異なる府税事務所の若手職員が一堂に会することにより、研修だけでなく府税事務所間の人間関係の構築、協力関係の形成にも貢献
7	政策企画部 企画統計課	<b>統計調査の環境改善のための普及啓発事業(地域分析)</b> ○膨大な量の公的統計の利活用を促進し、府民にとって統計をより身近なものとなるよう取組 ○分野の異なる統計調査を扱う担当者同士が対話を重ね、さまざま統計分析を試み ○取組の成果を府民に還元し、統計調査への理解を高める取組も検討
8	文化スポーツ部 文化政策課	<b>北山文化環境ゾーン交流連携プロジェクト(北山ぱ～とな～ず)</b> ○「つながろう!(交流)」をキーワードに、ソフト面からの協働連携(ハーモナイズアップ)とエリアの魅力(ブランド)覚醒を図るため、30の施設/団体等で「北山文化環境ゾーン交流連携会議(北山ぱ～とな～ず)」を立ち上げ活動中 ○北山を舞台に、ブランド(イラストマップ・ロゴ等)、情報発信、交流連携事業、北山未来構想等、様々な戦略を展開
9	文化スポーツ部 文化交流事業課	<b>京都:Re-Search</b> ○地域の日常に文化芸術が存在する文化との共生と、若手芸術家の制作・発表機会の確保のため、舞鶴市で短期アーティスト・イン・レジデンス事業を実施 ○アーティストの視点で、地域の魅力を再発掘、発信 ○アーティストと地域住民の交流を図り、継続的な活動につなげる
10	環境部 循環型社会推進課、 中丹広域振興局 中丹西保健所	<b>不法投棄やっつけ隊の構築</b> ○山間部等に捨てられた家電製品や家庭ゴミ等の小規模な不法投棄が後を絶たない事態の解決のために、地元住民、ボランティア、廃棄物処理業者、市町村を巻き込んだ新たな不法投棄対策を構築 ○不法投棄を考えるワークショップを行うことで目指すべき姿の共有を図り、連帯感を生み出すとともに、協働者それぞれの強みを活かして、撤去活動及び再発防止措置を実施
11	健康福祉部 保健環境研究所	<b>認知度・ノウハウ・予算なし!でも府民200人ゲットだけ! ～若手職員の成功体験を契機に見え始めた「ほかんけん」の未来～</b> ○当所主催の府民公開講座について、若手職員が中心となって、テーマ設定や広報活動など顧客(府民)に満足してもらったための様々な工夫を行ったところ、参加者数が大幅にアップ ○この成功体験を契機に、所全体の意識がより前向きに変わり始め、数年後に控えた新研究所開設に向け、課を横断した夢のあるプロジェクトが企画・立案され始めた
12	商工労働観光部 高等技術専門校、人 づくり推進課	<b>TAKE A CHANCE ～新科立ち上げ、今こそ変革のとき～</b> ○職業訓練校では定員割れや中途退校という課題に対し、定員充足率100%、応募倍率1.5倍の目標を掲げた ○「魅力ある施設」をキーワードに府内高校やジョブパーク等と連携を深めるとともに、施設の魅力を多様な方法で発信
13	農林水産部 流通・ブランド戦略 課、水産課	<b>おいしい京都の魚をお届けします!</b> ○京都産の水産物を多くの消費者に届けるため、府職員が生産者、加工業者、流通業者、量販店をコーディネートし、新商品開発や販売先の開拓を伴走支援 ○新聞各紙やNHKでも取り上げられるなど、幅広いPRと販売につながった
14	建設交通部 砂防課	<b>室内環境改善計画 ～快適な職場環境の創出～</b> ○執務室内が暗く、大量の簿冊や物品が散乱していた現状に対し、島長会議(管理職+各副課長)で改善の必要性や手順等を共有 ○チラシによる達成度の可視化、全員参加による一斉作業により、素晴らしい景観、ゆったりと清潔なスペース確保が実現